

気候変動影響及び適応に関する 島根県の取組について

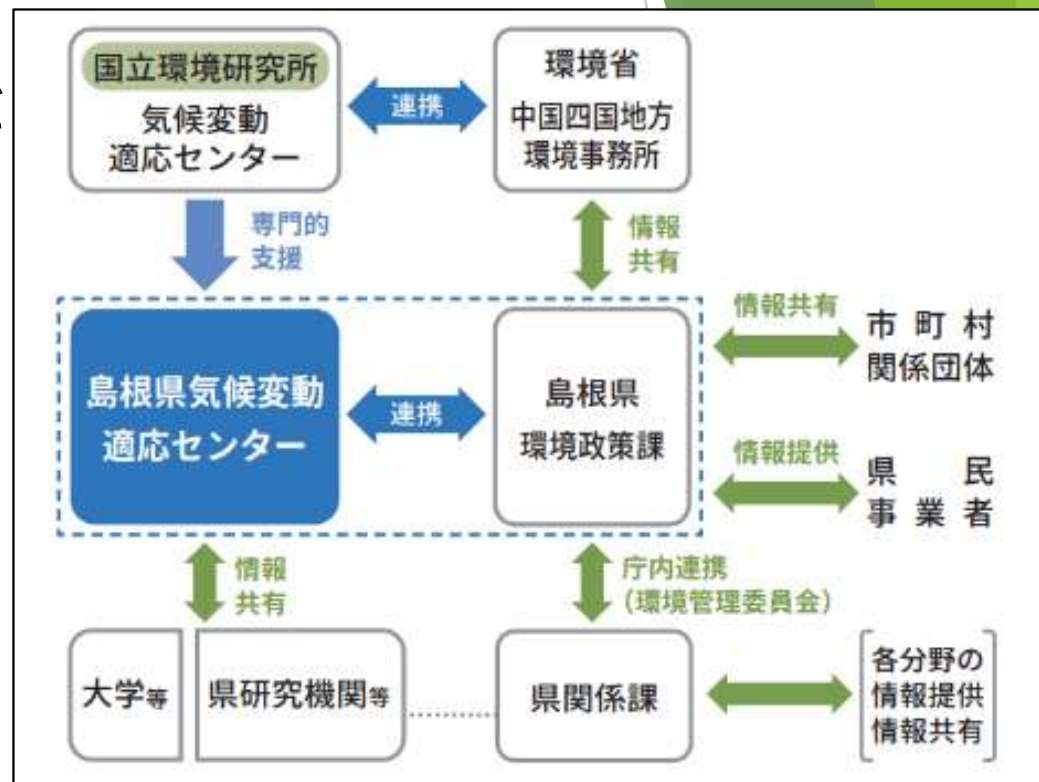
島根県気候変動適応センター

島根県気候変動適応センターの紹介

適応センターの位置づけ

2021年4月

島根県気候変動適応センターを
保健環境科学研究所内に設置



〈主な活動〉

島根県気候変動適応センターでは、
国立環境研究所内の「気候変動適応センター（CCCA）」をはじめ、
松江地方気象台や県内外の調査研究機関との連携を通じて以下の業務を実施

- 気候変動影響及び適応に関する情報の収集、整理及び提供
- 事業者や県民等からの気候変動適応に関連する相談への対応 及び情報発信
- 気候変動影響及び適応に関する調査、研究

活動状況

- (1) 市民調査員と連携した生物季節モニタリング
- (2) WBGT計の貸出事業
- (3) 県立公園での熱中症予防注意喚起事業
- (4) しまエコスポットの周知
- (5) 気候変動適応に関する県研究機関等との情報交換会
- (6) 県内事業者に対する気候変動適応例の紹介
- (7) 県立図書館と連携した気候変動適応に関する展示

(1)市民調査員と連携した生物季節モニタリング

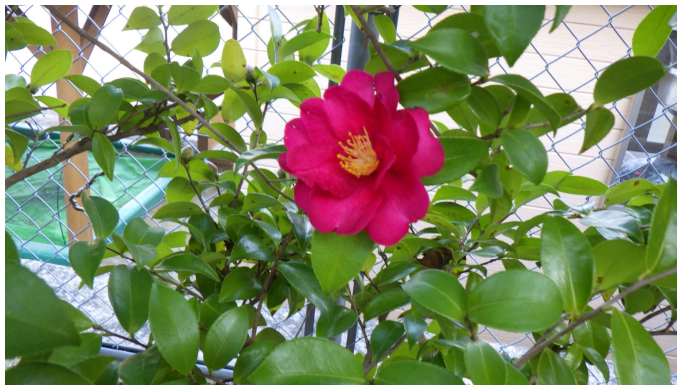
目的

- 気候変動影響の基礎データ収集
- 適応に係る啓発に利用（県民や事業者の自主的な取り組みを促す）

内容

国立環境研究所が行う「市民調査員と連携した生物季節モニタリング」に参加（令和5年度～）

研究所敷地内にある「さざんか」と「さるすべり」を対象にモニタリングを実施



さざんか



さるすべり

(2) WBGT計の貸出事業

目的

- WBGT計による熱中症指数の測定を体験することで、気候変動に伴う熱中症への対策に関する県民等の意識向上を促す

配備状況（R7.10時点）

WBGT計（口ガー機能あり） × 13台：気候変動適応センターに配備
WBGT計（口ガー機能なし） × 7台：県内各保健所に配備

貸出状況（R7.10時点）

令和4年度 7件
令和5年度 9件
令和6年度 10件
令和7年度 11件

※貸出依頼の多くは学校関係



(3)県立公園での熱中症予防注意喚起事業 (R6単年)

目的

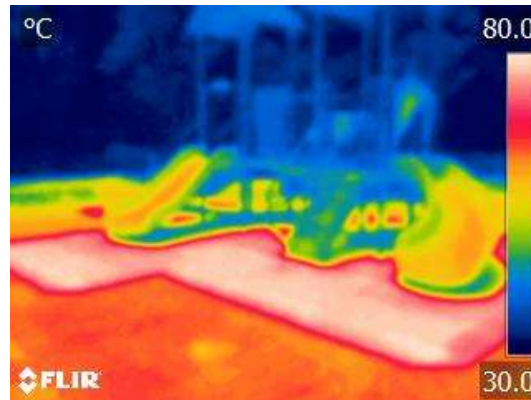
- 県立公園において、来園者に対する効果的な熱中症予防の注意喚起および普及啓発の検証を行う

内容

- 公園内の暑さ指数を測定し、熱中症の危険性が高まったときは園内放送等により注意喚起を行う
- 園内の危険な場所を把握するため、赤外線カメラ等を用いて遊具等の調査を実施

結果

- 現地結果と近くの観測所のWBGT値を比較すると、高い相関がみられたものの、2℃近い差がみられることもあり、現地で測定することでより状況に応じた対応ができることが示唆された
- 運用にあたっては自動測定や自動放送などの自動化が望まれる
- 遊具も場所によって、高温になり、特に黒色の場所は80℃近くなる



(4)しまエコスポットの周知

目的

- ・ クールシェア・ウォームシェアによる家庭内の省エネを推進
- ・ 節電対策や熱中症対策に加えて、人と人とのつながりを深め、地域の活性化、地域コミュニティの場づくりにもつなげる

内容

県民が気軽に集まって涼（暖）をとることができる県内の公共施設や商業施設などを「しまエコスポット」として設定

市町村が指定する
クーリングシェルターと一緒に地図
上で公開



(5)気候変動適応に関する県研究機関等との 情報交換会

目的

- 県内研究機関から気候変動影響及び適応に関する情報の収集、及び提供

各機関からの情報提供事項例（令和6年度）

トウモロコシの栽培試験について	温暖化への適応として年二回収穫を行う栽培実験
穴道湖の水質モニタリングについて	穴道湖の水質や水生生物の状況
今秋の気温が非常に高かったことについて	全国の気象データからの情報提供
キノコの栽培、野生鳥獣、森林関係について	キノコ栽培の気温上昇への対策 鳥獣の生息域への影響 種子生産、苗木生産等への影響
動植物への影響について	草花の開花時期や紅葉時期の変化
水生生物への影響について	降水量の大きな変化による懸念について

(6)県内事業者に対する気候変動適応例の紹介

目的

- 事業所で取り組める適応策の参考情報を提示

島根県における気候変動への適応

島根県気候変動 適応センター ホームページ

- [気候変動適応法に基づく地域気候変動適応計画（PDF）](#)

島根県環境総合計画の「2編-3章地球温暖化対策の推進」としてまとめています。

- [島根県における気候変動の影響と適応策（2024年9月時点）（PDF：415KB）](#)

現在、島根県が気候変動への適応策として取り組んでいる事業のうち、適応策として機能しているものをまとめました。

- [島根県内事業所で実施されている気候変動適応事例集（PDF：1.31MB）](#)

この事例集は、事業所において適応策を進める対策の立案・推進する際の参考情報を提供するものです。

事例2 事業所内での暑さ及び集中豪雨対策

分野	集中豪雨及び熱中症
概要	<p>○集中豪雨対策 土嚢等防災用品の配備・災害時緊急連絡網、連絡ルールの整備を行いました。</p> <p>○熱中症対策 夏場のスポーツドリンク無料配布（1本/日）、サマータイム導入（▲15分/日）、OS-1（経口補水液）と塩飴の常備、塗装・溶接用冷感作業服の導入を行いました。</p>
事業者名	リョーノファクトリー株式会社
連携相手	ドリンク会社、作業服販売会社
出典、参考URL	https://www.ryono-f.co.jp/



事例3 水の枯渇リスクへの対応

分野	水資源
概要	<p>気候変動影響として、降水量の減少による水の枯渇リスクを想定しています。(株)出雲村田製作所では水の枯渇リスクへの対応として、水使用量削減の取り組みを継続的に実施しています。</p> <p>①節水真空ポンプへの更新 真空ポンプを冷却水を循環利用できるタイプへ更新することで、従来、真空ポンプの冷却水として利用していた水使用量を削減しました。</p> <p>②工場排水の循環利用 浄化処理後の工場排水を排水処理装置で使用する水として再利用することで従来、排水処理棟で消費していた水使用量をゼロにしました。</p>
事業者名	(株)出雲村田製作所
連携相手	
出典、参考URL	



(7)県立図書館と連携した気候変動適応に関する展示

目的

- ・ 気候変動影響に係る情報を提供し、県民や事業者の自主的な取り組みを促す

期間（令和7年度）

令和7年5月2日（金）～6月4日（水）

展示資料

- ・ ポスター、パンフレット、チラシ等
- ・ WBGT測定機器

県立図書館との連携

- ・ 会場の提供
- ・ 気候変動適応関連図書展示

